

# 労働安全衛生協会 藤沢支部

## 安全勉強会

皆さんこんにちは。労働安全衛生協会藤沢支部 支部長を務めておりますいすゞ自動車(株)藤沢工場 労働部の森です。全国安全週間準備期間中である2024年6月24日月曜日、今年も恒例の「安全勉強会」を弊社藤沢工場にて実施致しました。当日は梅雨の合間の晴れ模様で大変蒸し暑く、奇しくも一昨年・昨年と同様の空模様となりました。

この「安全勉強会」も今年で3回目を迎え、回を重ねるに連れて規模も大きくなり、今回は藤沢労働基準監督署の下川署長を筆頭に、野口副署長、伊地知安全衛生課長、塩澤監督官そして平塚署から4名の監督官、厚木署から2名の監督官、そして横浜西署から2名の監督官と総員12名。また、藤沢支部からは7事業場9名。本部から法元部長がご来工され大変多くの方々にご参加頂きました。

改めましてこの活動にご理解・ご協力を賜っております事を深く感謝致します。



労働基準監督署の方々



会議室

冒頭の下川署長からのご挨拶では「転倒、腰痛等の災害が増えてきています。本日はこのような災害を重点的に改善事例などご紹介頂き関係者全体の知識向上に努めると同時に労働災害防止に繋がるようお願いします」とお言葉を頂きました。

続きまして弊社工場のご説明。過去にもご紹介しましたが、藤沢工場は1961年この場所にて操業開始。従業員数は約8,500名で敷地面積は101万平方メートル（東京ドーム約23個分又は東



京ディズニーランド+ディズニーシー) となっています。所在地は藤沢市の中でも極めて内陸寄り  
りで江の島などの風光明媚な観光地からは離れています。

次に弊社での安全活動等のご説明へと進み、工場で採用しています転倒防止安全靴へ履き替  
えて頂き、早速現認へ向かいました。

始めに実際の荷役作業を見て頂き、フォークリフト運転についての教育、安全についての取  
り組み。また今年から施行された“トラック運転者の改善基準”についてのいすゞでの対応を  
ご説明しました。



フォークリフト荷役作業



荷役作業場での現認

次に無理な作業についての対策及び重筋対策工程へ。ここではエルゴノチェア、疲労軽減マ  
ット、電動高さ調節機能付き作業台等をご紹介。ちょうど作業者が使用していたので直接（作  
業の邪魔にならないよう配慮しながら）インプレッションを聞いたところ、皆さん“膝が楽にな  
った。疲労感が無くなった”等のご意見を聞くことが出来、効果の程が伺えました。



エルゴノチェアの作動を確認



エルゴノチェア実演

いすゞ自動車(株)藤沢工場では様々な大きさ、仕様のトラックを製造しており乗用車と比べ部  
品は大きく、それに伴い重量も桁外れな故同じ手作業でもかなりの労力を使います。また作業  
スペースもそれなりに場所をとり限られたスペースの中での安全を配慮した組立て作業は場合  
によってはストレスにも繋がります。ここではサブアッセンブリーする際の大きな部品の移動や

搬送を出来るだけオートメーション化するなどの工程を見て頂きました。スペースについてはフレキシブルなレイアウトへと見直し作業スペースを大きく確保するなどをご紹介します。

昼食を挟み午後も引き続き重筋対策工程へ向かいます。

ここでは生産用治具を搬送する専用台車をご紹介します。この生産治具は300kg程の重量物である事から搬送は2名で行い、それを30メートル先の作業場へ毎回搬送して行っていました。そこで現場では台車のキャスターに着目し回転抵抗力が極めて低減されている“ミラクルキャスター”を導入。これに伴い1人で安全かつ容易に搬送出来るように改善され、作業への足腰への負担が劇的に軽減されました。現認でも体験頂きその軽さを実感頂きました。



治具台車押し引き体験



ドラム缶電動搬送機

また同じ搬送でもこちらはシール材が入ったドラム缶を汎用の台車で250kg×2のドラム缶を手押し搬送していましたが、そもそもの台車を電動化し安全かつ楽に搬送できるように改善。

続きまして工場出入り口転倒防止についてのご説明へと移ります。

出入り口付近は雨が降りますと雨水で非常に滑りやすくなっていました。そこで塗装に珪素を配合し床表面に凹凸をもたせた滑り止め加工を行い転倒災害防止に繋げました。またここを通過する動力車などについてもスリップすること無く安全に走行及び停車することが出来ました。



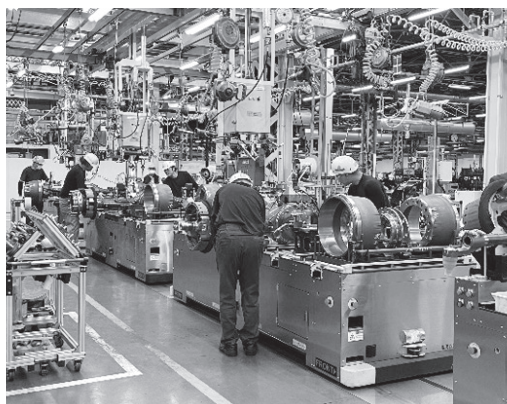
珪藻材を使用した床の確認



重量物ライン

その他の通路については老朽化が進み所々床剥げが見られましたが凹凸を修正し、あえて汚れがわかりやすいように白色系でペイントし歩行帯を追加しました。最初にご紹介しましたが、建屋は60年以上経つため日々修理や補強を行っている一部の作業でもあります。

この他にも別の工程での重量物対策クレーンやしゃがみ作業を軽減した自動搬送機の導入、また2023年4月から、新たな化学物質規制が導入されたことから、弊社での対応状況もご確認頂きました。



アクスル組立て（しゃがみ作業軽減）



重量物対策クレーン



化学物質リスクアセス手順確認



リスクアセスについてのご質問等

暑い中では有りましたが、皆様大変興味深く見聞され充実されていたようで、企画しました我々も嬉しく思いました。

最後の質疑応答では、いすゞでの安全活動の取り組みについてのご質問や、ソフト面での取り組みのご確認等、活発な質疑応答となりました。

また1日試履き頂きました転倒防止安全靴ですが「躓きにくい・疲れにくい・履き心地が良い」等の具体的なインプレッションを頂き、確実に改善していることを再度実感。



監督官からのご意見・質問

下川署長からの総括では「転倒災害防止や腰痛対策など、大変良く工夫されている事が確認できました。我々としても知識向上に繋がる事であり、是非これからもこういった改善を進めて頂き労働災害防止に努めて頂くようお願いします。」とお言葉を頂き、恙無くこの安全勉強会を終えることが出来ました。



下川署長からの総括

今回の安全勉強会で現認頂きました改善策や対応はほんの一部です。

いすゞ自動車㈱藤沢工場では安全第一を掲げ、安全で安心できる職場作りを目指し労働災害防止活動を日々推進しています。

また来年も趣向を凝らした安全勉強会をお伝えできればと思います。

最後に今回の安全勉強会の開催に付きまして、ご準備頂きました関係各位の皆様へ深く感謝すると同時に、藤沢支部では労働災害防止を念頭にこれからもこの活動を継続して参ります。皆様、ご安全に。